

竹浦漁港のあゆみ

2012年8月（修復前）



津波で防波堤は崩壊し、でこぼこ。途中は切れてる… 悲しい…

2013年2月（修復後）



修復完了。田中建設のみなさん、ありがとう♡



灯台もできたよ

集団移転

竹浦に、建築専門家の協力が決まりました。
（事業名：女川町離半島部竹浦地区高台移転地域づくり検討モデル支援）

専門家の方々の話って、きっと難しいだろう…
と思っていましたが、映像等もあり非常にわかりやすく、心強い味方です。

「竹浦をつくる」ってすごいこと。
だからこそ、みんなでがんばっぺ！



三井所先生
日本建築士会連合会会長・(株)アルセッド建築研究所



山中先生
日本建築士会連合会参与



みんなで考えてます。
大切なことだから、家族とも考えなきゃ。



森崎先生
森崎揮行連合会まちづくり委員会委員長・森崎建築設計事務所



田中先生
(株)エキープエスパス



NHK「きらい！えん旅」、見た？

みんな、いい顔してたね～。
ざぶとん獅子も
いい顔してたでしょ～。

新沼謙治さん、太鼓叩きました。
それも小太鼓！すごい！

此の記念碑は朝日新聞社寄託の義金、貳拾餘萬圓（二十余万円）を罹災町村へ分配したる残額をもつて建てたるものなり。
昭和九年三月三日 女川町

昭和八年三月三日
大嘯災記念たいしょうさいきねん
大地震の後には津浪が来る 地震があつたら津浪の用心
石碑の裏には、以下の文が刻まれています。
（天皇后西陛下には災害の甚大なるを聞召され特に罹災者に封して救恤金きゆうじゆつきん。意味困っている人に金品を与えて救うことを御下賜（おかし）。意味天皇や皇帝など身分の高い人が金品をくださることあらせらるる御手こと）に恐懼きようう。意味おそれいってかしまること感激に堪へず聖恩の宏大なるを永く後世に傳（か）し入んとす



竹浦にあるもう一つの石碑
昭和二陸地震からの教え… 後世へ…